工業つ子

NO.031
―発行日―
2009.02. 28
―編集―
長崎工業高校新聞部
―発行―
長崎工業高校新聞部

▶A2坂元豪州君作「グラウンドから見た校舎」

三年生の皆様ご卒業おめでとうございます。

ということで、毎年恒例のこのコーナーの季節がやってきました。しみじみと月日の経過を思う…そうです、三年生の卒業アンケートです！

これからは「自ら」

暖かく春らしい日が増えてきました。もうすぐ三月。卒業・進級と、大きな区切りの時期となります。

良かった点、悪かった点、今年度の自分を振り返ってみましょう。自分の長所・短所の両方を自覚し把握することで、今後目標が立つと思います。

ご存じの通り、今社会は不況の真只中。企業の経営悪化、派遣社員をはじめとした大幅な人員削減、内定取り消し。百年に一度の経済不況といわれるほど。

ほとんどが就職を希望する工業高校にとって、この問題は大きいものです。

確かに就職時、長年の先輩方の努力により「長工」の名が背中を押してくれます。しかしこのような不況にあっては「長工」の後押しだけでは足りません。本人の力がないといけないのです。

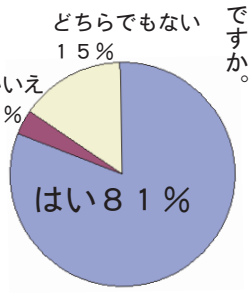
力の源は部活動や勉強、資格取得など「これは全力で取り組んだ！」と言えるもの。自信にも繋がります。そのような中から将来「自分にしかできないこと」ができてくると自分の価値が高まります。日頃の生活態度が選考に影響することもあるかも知れません。今が一番楽しい高校時代ですが、多少の我慢も必要です。

今後就職を目指す一・二年生も、社会人となる三年生も厳しい時代に臨むことになります。「どうにかなる」ではどうにかならなくなります。意識的に行動し、向上を図り、現在の不況を乗り越え、「自立」できる明るい将来を自ら作り出していきましょう。

卒業直前アンケート ～さよなら長工…

さっそく、アンケートの結果です。

Q．長工に入ってよかったですか。



その主な理由は…

「はい」
・楽しかった（面白かった）
・いい友達に出会えた
・いいところに就職できた

「いいえ」
・行事が少ない

「どちらでもない」
・思ったほどではなかった

一，二年生も卒業の時、八〇％以上の「はい」はキープしたいものですね。

…ということで、次は「長工での一番の思い出」です。

第一位は…体育祭

そして第二位　修学旅行

第三位　競技大会・部活

―長工生はスポーツマンの気質あり？体育祭がダントツで人気でした。パレードがよかったという答えがとても多く、濃い思い出になったことと思います。

では、高校生活を漢字一文字で表すと？

楽しかった…第一位

第二位　**笑**った

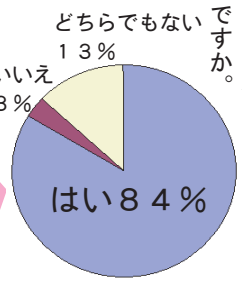
第三位　**変**化があった

その他

赤…赤点ばかり取った

寝…よく寝た

Q．高校生活は楽しかったですか。



その主な理由は…

「はい」
・楽しかった（面白かった）
・友達が出来た
・笑いの神がいた
・限りない青春だった

「いいえ」
・きつかった

「どちらでもない」
・もっと楽しくできた
・微妙

長工生を感じた瞬間

「実習」第一位
…普通はできない。工業らしい。

第二位　資格を取ったとき
…嬉しかった。

第三位　就職のとき
…緊張した。

その他には「実習服を着たとき…工業だと思った」「課題研究…他校じゃここまでしない」がありました。

三年間で得たもの

「友達」第一位
…一生付き合っていける！

技術　第二位
…実習で身につけた。

第三位　資格
…たくさん取ったから。

そんな三年生が長工で一番好きな場所は…

「教室」第一位
…落ち着く。

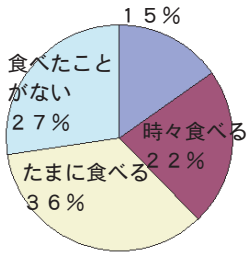
第二位　語らいの広場
…ゆっくり出来る

グラウンド　第三位
…ここでたくさん汗流した

▲教室ともお別れ…（涙）

さて、お昼は…

「いずや弁当」食べますか。



人気のいずや弁当ベスト3☆

第一位　からあげ弁当

第二位　チキン南蛮

第三位　エビカツ

お弁当はからあげ弁当とチキン南蛮が昨年に引き続き不動の人気。さて、来年はどうなるでしょうか。

いよいよ最後。「後輩に一言！」お願いします！

がんばれ…第一位
…がんばってほしいから

第二位　勉強がんばれ
…就職とか大変だから

就職がんばれ　第三位
…経済不況だから

その他の一言には「夢を決めてから進路を決めろ」「あなたはコンテニューできないのさ…人生は一回きり」などもありました。

熱き長工魂！ 三十八年ぶり決勝へ

サッカー新人戦県大会 準優勝

一月三一日、諫早運動公園で行われた県サッカー新人戦決勝。長工サッカー部、実に三十八年ぶりの決勝の舞台。応援バスも三台出て、新聞部はもちろんたくさんの生徒が応援に駆けつけました。引退したサッカー部の三年生を中心に野球部、吹奏楽部などが一丸となっての応援で士気高まる会場。

決勝の相手は強豪校として知られている国見高校。

キックオフ前、元キャプテンのA3中島彰吾君に話を聞くと「運が良かったにせよ、この舞台でやれることを誇りに思い、プレーできることに感謝して思いっきり楽しんでほしい」と。

いよいよ試合開始。最初は互角のように見えましたが、前半二十五分に国見が先制の一点、次いで前半終了間際の三十五分にコーナーキックからバウンドしたボールが入りまさかの二点目。後半もPKでの一点を含む二点をとられ、結果は4対0で負けてしまいました。それでも積極的に何度もボールに食らいつく姿が印象的でした。

試合後いろいろな方にインタビューしました。

元キャプテン中島君

―試合をして一人一人が課題を見つけたと思うので、もっと強い長工になってほしい。俺たちより上に行かれてすごく悔しいけど、それ以上に嬉しく思っています。練習に励んで、次は必ず優勝せろ！

中村先生

―新チームになって、まだ二ヶ月しか経っていないから今からが楽しみ。九州大会ではまず不足しているところを補い、強いチームの中で何ができるのか、できるプレーをさせたい。

和泉先生

―吹奏楽部、その他の部ありがとう。あの応援があいつらの気持ちを高めてくれた。しかしあくまで目標は長崎県一！次だ！次！

井口先生

Q新人戦を総括すると…

―くじ運や勝運に恵まれたと思う。やはり国見高校とはまだ差がある。普段の練習の成果・持てる力をフルに出せた大会だった。きつい中よく頑張った。

―キーパーが頑張り相手もミスしてPKで勝った三回戦の長崎北高校・四回戦の波佐見高校戦は特に印象に残った試合。

Q九州大会へ向けて

―自分達のサッカーをしてまずは一勝！

強いチームと戦って、いろいろ学んでくれればいい。

山下キャプテン

―フィジカルも、スピードも体力も全て国見に負けていた。まだチームプレーの意識が低かった。九州大会までに自分達に足りないものを少しでも補い、良い結果を出したい。皆さんありがとうございました。

応援の吹奏楽部の人達は感動したと語り、教頭先生も「よく頑張った。三十八年ぶりでOBの方も来てくれて良かった。」と話して下さいました。

サッカー部の皆さんお疲れ様でした。これからの更なる活躍に期待します！

◀▲熱いぜ長工!!▼▶

▲長工不動のくつろぎスポット！好きな場所第二位「語らいの広場」

総括

長工生は友達想いだとつくづく思いました。友達とたくさん過ごした場所が好きな場所の上位に入ってくることにも納得しました。三年生の皆さん、これからも長工の思い出を胸に活躍してください。

アンケートに答えてくれた三年生の皆さん、ご協力ありがとうございました。

長工に入って三年がたちました。先輩の背中に憧れた一年。勉強を怠けすぎた二年。就職・進学と現実を突きつけられた三年。

専門分野などの新しいことを学ぶ瞬間。資格を取るためのクラス全員の朝・放課後補習。競技大会や体育祭、そして文化祭。長工で過ごした三年間はとても早く、たくさんの思い出を作ることができ、充実した高校生活を送ることができました。またクラスの仲間や部活の仲間などかけがえのない仲間を作ることができました。

高校二年生で新聞部に入り、放課後はパソコンに向かう部活漬けの二年間でした。文化部のくせに活動力がすごく、疑問があったら聞いて確かめる。休日にも関わらず部活動をし、学校を飛び出し取材で駆け回ったこと。様々な先生や工業生とふれ合うことができたことはとてもいい思い出・経験となりました。

四月、三年生三人で活動していた新聞部でしたが今は十人という大所帯になりました。新聞のコーナーも前年に比べ充実したものとなり、さらに活動的になりました。来年度からは新しい長工新聞部となります。これからも長工の情報を発信する中心として頑張っていってほしいです。

一・二年生の皆さん、これからもめいっぱい長工ライフを楽しんでください★

さよならさっちゃん

全国でも君は速かった！

一月十日、北海道札幌市で行われた二〇〇九ジャパンマイコンカーラリー全国大会。長崎県代表として出場したM3の宮崎君に大会の様子を聞いてみました。

Q全国大会はどうでしたか。

―人が多かった。コースが難しかった。

Q今回の**マシンの調子は**…。

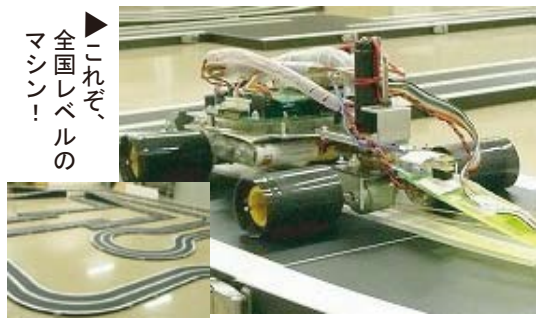
―好調。

Q北海道では何を食べましたか。

―札幌ラーメン。焼がに。ホッケ。高級でした。札幌ラーメンはみそ味でパンフレットに載っていた所に行きました。

Q観光などはしましたか。

―札幌駅や旧北海道町などに行ったが、雪祭りがまだ始まっていなくて、残念だった。



▶これぞ、全国レベルのマシン！

Q大会で**ハプニング**は？

―前日の練習で、スタートボタンを押し忘れてマシンが動かなかった。あとは、マシンの寒さ対策が万全ではなかった。

Q今回の**自己評価は何点**？

―完走出来たから八〇点くらい。

Q後輩に一言おねがいします！

―全国のマシンを参考に、プログラムを自分で作れるようになりましょう！（全国大会では九州大会の時より十メートル長い。そのコースで完走できたのは長崎県で宮崎君ただ一人でした。）

全国大会お疲れ様でした。今回の質問の回答が少なからず後輩のマイコン作りに活かされていくことでしょう。

未来のマイコン制覇者は君かもしれない！

ちなみに、大会の副賞は、一位…ブルーレイ、二位…電子辞書、三位…ブルーレイ、六～八位…アイポッドという豪華な賞品！全国大会恐るべし…。

今日は君がロボキング★

一月七日、長崎ブリックホールで開催された「子育てを考える、家族・地域のきずなフォーラム」。長工からP科とD科、建築研究部の皆さんが協力参加しました。イベント名は『**今日は君がロボキング！**』（ちなみに命名は新聞部）長工のブースは長工生手作りのロボットや列車、チョロQで遊ぶ子供達でとても賑やか。さっそく会場で子供達の相手をしていた長工生にインタビューです。

まずは「新幹線」で子供達を楽しませていた**P科の皆さん。Q子供たちの反応はどうですか。**

―何回も乗ってくれたので、作って良かった。

P科の新幹線は稼働し過ぎたためオーバーヒートするほどの人気ぶりでした。

次は〈**チョロQ**〉**のD科。Qアクシデントは？**

―チョロQの周波数を変え他の子にいたずらをしている子がいた。（頭がいいと思った。）

Q楽しいですか。

―楽しいけど子供を順番に並べるのが大変です。

▲チョロQはえー！

長工から未来が育つ★

〈もっくん・木木木林MAD〉で参加の建築研究部。Q子供の反応はどうですか。

―ロボットに興味を持ってくれた。（でも「もっくん」が壊れるアクシデントも…）

来場されていた方にも感想を聞いてみました。

さて**子供たちの感想は…**

新幹線―速くて楽しかった。

チョロQ―カーブが難しかった。

もっくん―乗れて嬉しい。

保護者の方にも伺いました。Q長崎工業のコーナーはどうですか。

―とてもよくできていた。本格的で高校生とは思えない。

Qお子さんの反応は？

―興味津々で楽しそうだった。連れてきて良かった。

カメラや携帯を片手に子供の様子を撮影される様子が多く見受けられました。今回は子供達だけではなく、保護者の方にも興味を持っていただいたようです。

また、金子県知事も来場。会場を見学されていた**知事にも感想を**いただきました。

▶しゅっぱーつ！

Q長崎工業のコーナーはどうですか。

―面白い発想だと思います。

会場ではそれぞれの科の先生方もいらして忙しそうにされていました。その中のお一人、**P科の中村先生にもお話を**伺うと「保護者の方と子供達が楽しそうにしていて新幹線を持ってきて良かった。」とのこと。

そして中村先生曰く、**〈工業人は人を喜ばせるためにあるものだ〉**

会場では皆さん忙しそうでしたが自分達の作品で楽しく遊ぶ子供達に嬉しそうでした。私達も多くの子供が長工生の作品に興味を示してくれ嬉しく思いました。

▲お兄さんと一緒♪

僕らは楽器に恋をした

一月十三日に市民会館文化ホールで開催された第五回定期演奏会。会場には長工の先生方や生徒の他にも中学生の姿もありました。

定期演奏会では皆を楽しませてくれる企画物も。今回は某アニメ番組をもじった「キモキュア5」。長工の中にこんなキモい（もちろんいい意味で！）ヒーローがいるなんて！そこでキモキュア5、ヒロイン・**のぞみ役の尾崎君にインタビュー。**

Q緊張しましたか。

―練習したので全然緊張しなかった。

Q一番難しかったことは？

―キモキュアの振り付け。

Q今日の出来は何点ですか。

―百二十点！

Q誰がキモキュアを決めたんですか。

―オーディションでした。

またリコーダーで素敵な音色を奏でてくれた「ピーヒャラーズ」の5人組。今後の活動について話を聞くと「今日をもって解散！」とのこと。残念です。

演奏会の後の部長の談話。

Q緊張しましたか。

―緊張した…。三年生に思い出が残せたのでよかった。

Q一番難しかったのは？

―キモキュアの振り付け。

Q演奏会を採点すると…

―百六十二点！

来場していた吹**奏楽部OBの方に話を伺う**と「ますます発展して欲しいです。期待の意味を込めて。」とコメント。これからも発展していくNKブラスから目が離せない！

◀時代はキモキュア5☆

▶迫力の演奏！

はいさい沖縄

一月十六日から十九日に実施された二年生の「三泊四日・沖縄修学旅行」！

朝八時に学校に集合。まずは福岡空港へ。約一時間半の空の旅を経て、那覇空港に到着。さすがは南の国沖縄。暖かいというか「暑い」！沖縄の暑さに適応するためにほとんどの生徒が冬服から夏服、中間服へ。

バスで走る沖縄の街。バスガイドさんが、沖縄弁であいさつをしてくれましたが、何を言っているのかさっぱり分からない私たち。まるで異国の言葉。

♪ここは沖縄！（ゆい！）♪これが沖縄！（ゆい！）と、バスガイドさんの歌の後に、腹の底から「ゆい！」と叫ぶ私達。沖縄は暑くて熱い島だぜ！

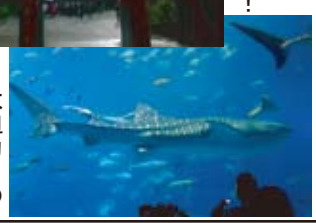
一日目は、東南植物亜熱帯園、嘉手納基地を通過後、琉球村へ。

二日目は科ごとに分かれての体験学習、ジンベイザメの迫力に圧倒された、「美ら海水族館」。三日目はひめゆりの塔の後「国際通り・自主研修」ここではたくさんのお土産を購入。ゆったりとした空気が流れ人々の個性が溢れるところでした。

四日目は首里城、那覇空港へ。そして福岡空港に到着。そこで待ち構えていたのは大半の人が「寒っ！」と口を揃えて言うぐらいの寒さ。ああ、沖縄が恋しい…。

二年生の皆さん。三泊四日という短い時間の中で、どれだけ「ウチナーンチュ」（沖縄の人）になれたでしょうか。短い間でしたが慣れない環境で自分なりに対処していく力が身についた修学旅行。きっとこれからの人生に活かされることでしょう。三泊四日、ウタイミソーチー！（おつかれ！）

◀守礼の門！



▶大迫力！のジンベイザメ

長工で数えてみよう！ー魔の廊下編ー

新聞を読んでくださっているあなた！数えてみようはいつだってここに★

今回は二年生が修学旅行前ということで、一年生だけで数えることになり四人では辛く厳しい数えようとなりました。

その数えたものとは**「廊下の長さ」**です。

以前から提案されてはいたものの、却下されてきました。しかし、このまま数えずに封印なんて数えようは成り立たない！ということで無理矢理トライ。

今回はカウンタではなく「メジャー」で計測。メジャーを貸して頂いた体育科・建築科の先生方、御協力ありがとうございました。

測り始めは一月某日。放課後、誰もいない廊下で、新聞部が走る走る走る…。あ、廊下は日常生活では走ってはいけません。普段端から端まで行くことなどないので、大変な重労働。真冬なのに汗をダラダラ流しながらの作業。もちろん、翌日からは筋肉痛の連続。

さてさて、

今回の結果は…

一一二七八・五三メートル

約十kmでした。この！長さはおよそ長工から南は長崎南高校の、北は長崎明誠高校の近くまでの距離に匹敵します…たぶん。実際に走って計測した部員から一言。後日体重を測ると、ちょっと痩せていました★ではまた…。

▼これも"渡り"廊下♪

▲果てしない廊下の向こうに～

編集後記

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。卒業間近まで先輩に手伝って頂いた新聞部。これからがとても不安ですが、先輩に負けないくらい頼りがいのある上級生になってみせます！今後ともよろしく！